

競技上の注意

1. ルールは、現行の日本卓球ルール及び同細則を適用します。
試合球は、40mmホワイトボール(プラスチックボール)を使用します。
対戦相手と希望する種類及びボールメーカーが違う場合は、ジャンケンで決定とします。
 - ① 団体戦、個人戦とも11点5ゲームズマッチとします。
 - ・ サービスは2ポイントごとに交代。ただし10-10以降は1ポイント交代。
 - ・ タオルの使用は6ポイントごと、及び最終ゲームのエンド交代時に可能。
 - ・ 最終ゲームのエンド交代はどちらかが5ポイント先取したとき。
 - ・ ゲーム間の休憩は1分以内とします。ただし、ベンチコーチは1名のみとします。
 - ・ 選手がコートを離れてアドバイスを受けてはいけません。(本大会では競技中のアドバイスは認めません。)
 - ② 「タイムアウト」ルールは今大会では採用しません。
2. 試合にはゲームシャツ・パンツで出場願います。
3. 団体戦の試合方法はトーナメント戦とします。
負けた場合でも交流戦を行います。交流戦の入る場所を確認の上、次の試合に備えてください。
オーダー交換は各テーブルで行ってください。勝敗が決定しても5番まで試合を行ってください。
小学生の部はABC/XYZ方式とし、コートに入ったら直ぐに、トスによりABC/XYZを決めた上でオーダー交換を行ってください。
中学生の部は4人から6人で団体を組み、1・2・4・5番がシングルス、3番がダブルスになります。
1番と2番の選手によるダブルスは組めません。
4. 個人戦の試合方法は各種目で予選リーグを行い、順位により第二ステージに進みます。
カデット男女、ホープス男女、カブ男女、バンビ男子は、決勝トーナメント及び下位トーナメントを行います。バンビ女子は、決勝リーグ及び下位リーグを行います。
大会2日目予選リーグ、3日目は第二ステージとなります。(決勝・下位とも第二ステージの棄権は認めません。)
5. 審判につきましては、予選リーグはリーグ内で相互審判とし、決勝トーナメントは敗者審判とします。
(3日目の第1試合のみ本部より審判員を配置します。)
バンビ男女は、全て本部より審判員を配置します。
6. 団体戦は勝ったチーム、個人戦の予選リーグでは1位の選手が記録用紙を本部席へ持ってきてください。
個人戦トーナメントでは、勝った選手が記録用紙を本部席に持ってきて、次の試合の記録用紙を運んでください。負けた選手は、その場で待機し、次の審判をしてください。
7. 各試合の開始時間は、プログラムのタイムテーブル表に記載されています。
 - ①2日目の個人戦予選リーグはタイムテーブル通りの時間とします。
 - ②3日目の決勝トーナメントはタイムテーブル前でも両選手が揃った時点で試合を始めて下さい。
 - ③3日目の下位トーナメントは、全て放送にて呼び出し致します。
 - ④3日目のトーナメントで、進行状況によりコート変更を行う場合は、放送にて呼び出し致します。
8. 表彰は各種目ベスト4までとします。該当選手は閉会式にご参加下さい。
9. 2日目はUホール会場が講習会会場のみとなります。(詳細は別紙ホープス後援会案内をご確認ください。)
尚、会場間の移動には、巡回送迎車をご利用ください。